



魚津市イメージキャラクター

ミラたん

魚津市プレスリリース 令和6年3月1日

通学路のブロック塀の安全点検のお願いについて

1月の能登半島地震では、魚津市内での甚大な被害は報告されていないものの、県内においてもブロック塀の倒壊が多く確認されました。

平成30年の大阪府北部地震では、ブロック塀の倒壊により、通学中の小学生が犠牲になるという痛ましい事故も発生しています。

このような事故が起こらないよう、ブロック塀の所有者に対し安全点検についてのお願いのお知らせをします。

記

日 程	令和6年3月
方 法	通学路上にあるブロック塀宅にポストイン
内 容	別紙のとおり

以上

【参考】

H30.10も、所有地のブロック塀の安全点検のお願いを約150件にポストインしました。今回は、H30のブロック塀を再度確認し、現在も残っている約120件にポストインします。(H30以降にブロック塀の撤去や、ブロックを低くしたりアルミ製に変更したりする対策・改善が確認された。)

魚津市教育委員会 教育総務課
(課長)前田久則
(担当者)山岡耕太郎
電 話 0765-23-1044
school@city.uozu.lg.jp

地域住民の皆様へ

魚津市教育委員会

通学路のブロック塀の安全点検について（お願い）

日頃より当市の教育行政にご理解とご協力を頂きありがとうございます。

1月の能登半島地震では、魚津市内での甚大な被害は報告されていないものの、県内においてもブロック塀の倒壊が多く確認されました。

平成30年の大阪府北部地震では、ブロック塀の倒壊により、通学中の小学生在犠牲になるという痛ましい事故も発生しています。

つきましては、このような事故が起こらないよう裏面のチェックポイントのとおり、所有地のブロック塀の安全点検をお願いします。その結果、安全性が疑われた場合は、施工業者等に相談されるようお願いします。

今後とも児童生徒の登下校の安全確保のため、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

建築物（ブロック塀）に、欠陥がある状況や、管理が不十分な状況で倒壊し、隣家や通行人に損害を及ぼした場合、民法第717条の規定により所有者が責任を負うおそれがあります。

※ 国、県と市が連携して住宅に付随する危険なブロック塀等の除却又は建替えを行う方に対して支援を行います。

除却又は建替え工事に要する経費の3分の2にあたる額を補助

ブロック塀等の除却の場合 最大10万円 ブロック塀等の建替えの場合 最大15万円

ただし、現行の建築基準法に適合していないなど、要件を満たす必要があります。

市都市計画課 建築住宅係（0765-23-1031）にお問合せください。



※ 富山県ではブロック塀の安全対策として、ブロック塀の補強、除却及びアルミフェンス・生垣等の整備に対し、実質無利子の融資制度（住みよい家づくり資金融資制度）があります。

富山県建築住宅課（076-444-3356）にお問合せください。



事務担当

魚津市教育委員会教育総務課

TEL：0765-23-1044

ブロック塀等の点検のチェックポイント

ブロック塀について、以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。

まず外観で1～5をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、専門家に相談しましょう。

□ 1. 塀は高すぎないか

- ・塀の高さは地盤から2.2m以下か。

□ 2. 塀の厚さは十分か

- ・塀の厚さは10cm以上か。（塀の高さが2m超2.2m以下の場合15cm以上）

□ 3. 控え壁はあるか。（塀の高さが1.2m超の場合）

- ・塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか。

□ 4. 基礎があるか

- ・コンクリートの基礎があるか。

□ 5. 塀は健全か

- ・塀に傾き、ひび割れはないか。

<専門家に相談しましょう>

□ 6. 塀に鉄筋が入っているか

- ・塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも 80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。
- ・基礎の根入れ深さは30cm以上か。（塀の高さが1.2m超の場合）

組積造（れんが造、石造、鉄筋のないブロック造）の塀の場合

- 1. 塀の高さは地盤から1.2m以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か。
- 3. 塀の長さ4m以下ごとに、塀の厚さの1.5倍以上突出した控え壁があるか。
- 4. 基礎があるか。
- 5. 塀に傾き、ひび割れはないか。

<専門家に相談しましょう>

- 6. 基礎の根入れ深さは20cm以上か。

